

開成町議会 ギカイだより



議会WEBサイト
トップページ

11月11・12日両日、開成小学校の6年生が議会の仕組みを学習に来られました！

社会科の授業で「地方自治」について学ぶ児童らに、議会の仕組みや町議会の行政への関わりについて理解を深め、町政への関心を高めてもらうことなどが目的です。

議場体験で見えた 子どもたちの未来

開成町議会では園・町内学校の授業等で議場を使っていただくことを積極的に推進しています。

学校の授業で議場を使っていただき、授業の内容だけでなく、「議場」の思い出が残ってほしいと願っています。皆様のお越しを楽しみにしています。

私たちのことを考えて
しっかりやってくれている
ことが分かり嬉しかった！

将来、議員になりたいと思った！

学校やお店のことを議会が
考えてくれていることが
分かって良かった！

子育てをしながら議員を
やっていることに驚いた。

かいせい町民フェスタに『議会』も**初**参加します!!!

開成町議会は、「かいせい町民フェスタ2024」で、議員と気軽におしゃべりする「何でも相談」ブースを設けます！

また、3階の議場見学を行います。皆さんぜひ気軽にお越しください！

令和7年3月20日(木・祝)開成町役場庁舎 3階議場他

10:00~15:00

スマホ普及率100%へ！ 人を大切にする図書館！



行政視察とは、行政が抱える諸課題の解決、事務事業の比較、政策研究のため、先進的な取り組みを行っている自治体に行くことです。

議員一人一人の視察の所感(感想)はウェブサイトで公開しています。

議員全員が令和6年10月23・24日県外行政視察に行きました。
朝4時に出発してまで見てきたかったのは…

高知県日高村の「村まるごとデジタル事業化・スマホ普及率100%から始めるDX」、 高知県高知市の「オーテピア高知図書館」！

日高村では住民にスマートフォン普及と利活用を促し、アプリを活用して「防災」「情報」「健康」の側面から生活を支援する取り組みを行っています。開成町では高齢者がスマートフォンを使いこなせず自治体のデジタル化が進めにくい状況です。

これからますます進むDX(デジタルトランスフォーメーション)社会。どのように対応していくのか。「村まるごとデジタル化事業」の取組みが「地方創生応援税制に係る大臣表彰」を受賞した日高村の先進事例視察を生かして、議会としても広報発信のあり方の検討や町への働き掛けを行いたいと思います。

そして、オーテピア高知図書館。来館者数は年間100万人。DXの先進的な視覚障害者サービス(電子書籍の導入、スマートフォンアプリの導入)を行っています。開成町に導入できるものはあるのか、議員一人ひとりが見極め今後の議会活動に生かしていきます。

日高村(人口約4,800人、高齢化率40%以上)では、令和2年よりデジタル化を推進し、日本初のスマホ普及率100%を目指しています。少子高齢化や財源不足が背景にあり、住民の自助の力を向上させることが目的です。当初64.5%だったスマホ普及率は、令和5年10月時点で92.7%にまで上昇。

普及活動は、「365日いつでも説明に伺います」と住民に呼びかけ地道な活動、役場やスーパーに「よるず相談所」を設置し、スマホ教室や個別相談会を実施。健康アプリ「まるけん」の導入により、住民の健康管理が可視化され、約3,000万円の医療費抑制効果もあったとのこと。これらの取組みの財源は企業版ふるさと納税を原資に取り組みました。スマホ普及率を高めることの意義、大切さを学ぶことができ大変有意義な視察となりました。

オーテピア高知図書館は日本初の都道府県立図書館と市立図書館の合築であり、高知 声と点字の図書館、高知みらい科学館からなる施設です。

同図書館は高知市のランドマークとなっており、図書館の活用法を熟知している都市部からの移住者へのPRにも寄与しているとのことでした。

本探しのお手伝い業務など図書館の根幹にかかわる業務は、司書を中心に高度な能力を有する職員でなければならず、専門職を確保すると同時に人材育成を行うため、バックヤード業務以外は外部委託せず、直営を堅持しているそうです。

オーテピア高知図書館の規模をそのまま本町に当てはめることは難しいですが、人材育成に重きを置き、誰ひとり取り残さないバリアフリー図書館という発想は本町でも大いに生かせると感じました。

常に様々な研修を行っています。研修の一部を紹介いたします。

議会、日々研鑽！！

10月4日 容器包装プラスチック・リサイクル中間処理工場視察

現在プラスチックリサイクルは、環境保全や資源の節約、持続可能な社会に欠かせない取り組みです。焼却を減らせば、二酸化炭素排出量の削減が可能であり限りある天然資源を節約するためにも、重要な考え方となっています。開成町議会ではリサイクルの現状を知るために、南足柄にあるあしがら環境保全(株)の工場視察を行いました。容器包装リサイクル制度の仕組みや、また、開成町から出る容器包装プラスチック・ペットボトルの中間処理の流れ、近隣のプラスチック・ペットボトルの排出状況等の現状把握を行いました。「ゼロカーボンシティ」を表明している開成町にとって、有意義な工場視察となりました。



11月7日 令和6年度南足柄市議会・足柄上郡町村議会議長会合同議員交流視察研修

足柄上地区1市5町では、それぞれの施設でごみ処理を実施していますが、各施設の老朽化が進んでいます。ごみ処理施設の整備には多大な費用がかかることから、足柄上地区1市5町では、広域でごみ処理施設の運用をすることになっています。そこで1市5町の議員合同で視察研修を行いました。「クリーンセンターいず」は令和5年に稼働した処理能力82t/日の処理能力を持ち蒸気タービン発電機(最大出力1,200kw)を備えた焼却炉となっています。施設完成までの状況や、運用実績等の研修を行いました。近い将来建設される広域焼却炉事業に生かされる視察研修となりました。



11月5日 酒匂川右岸土地改良区との勉強会

酒匂川右岸土地改良区の職員の方による勉強会を開催しました。昭和27年に土地改良区は発足しましたが、現在の農地は312.4haで発足当時の43%まで減少しています。組合員も流域世帯の6%程度まで激減し高齢化も進んでいます。農地転用により収入が減少し土地改良区の収入は住民の6%にすぎない農家の賦課金で賄われていますが、今後は恒常的な赤字が予想されるとのことです。大雨時の水門調整など直接住民の生活にも関係している酒匂川右岸土地改良区です。流域住民・行政・農業者が、農業用水だけではなく町民生活に関係している酒匂川右岸土地改良区について理解し、互いに協力し合う関係づくりが大切なのだと感じた勉強会となりました。



12月18日 議会広聴委員研修会

足柄上郡町村議会議長会による議会広聴委員会研修会が開催されました。講師に長内紳悟氏(一般社団法人地方公共団体政策支援機構 上席研究員)を迎え「町民と議会をつなぐ広聴活動」について広報広聴常任委員会広聴分科会委員が受講しました。議会が目指す開かれた議会とは何か、議会広聴活動である議会報告会の問題点をどのように解決していくかなど、多岐にわたる議会の問題解決への講演でした。また、住民の意思形成と参画においてもデジタル技術を用いた効果的なデータの活用や、得られた知見の住民への発信等、新たな方向性が示された研修会となりました。



忙しいあなたへ
ほぼ10分でわかる
議員全員賛成の議案

議会審議結果ハイライト

令和6年開成町議会10月随時会議・審議結果

提出	議案名	審議結果	内容
10月10日 町長	令和6年度開成町一般会計補正予算(第3号)	可決	補正予算9,882千円を追加し、歳入歳出予算総額を7,812,107千円

令和6年開成町議会11月随時会議・審議結果

議決日	提出	議案名	審議結果	内容
11月20日 町長		開成町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を制定することについて	可決	人事院勧告及び神奈川県人事委員会の給与等に関する勧告に鑑み、職員の給与月額並びに期末手当及び勤奨手当の支給率の改定を行う
		開成町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	会計年度任用職員の給与について、常勤職員の給与の改定に係る取扱いに準じて改定を行う
		令和6年度開成町一般会計補正予算(第4号)	可決	補正予算442,652千円を追加し、歳入歳出予算総額を8,254,759千円
		令和6年度開成町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	補正予算567千円を追加し、歳入歳出予算総額を1,693,556千円
		令和6年度開成町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	補正予算50,248千円を追加し、歳入歳出予算総額を1,483,446千円
		令和6年度開成町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決	補正予算97千円を追加し、歳入歳出予算総額を334,394千円
		令和6年度開成町駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	補正予算1,009千円を追加し、歳入歳出予算総額881,374千円
	令和6年度開成町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	補正予算1,345千円を追加し、歳入歳出予算総額471,121千円	

令和6年開成町議会12月定例会議・審議結果

議決日	提出	議案名	審議結果	内容
12月4日 町長		固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	藤井 宏氏の再任について
		工事請負変更契約の締結について(令和6年度開成町民センター老朽化対策工事)	可決	令和6年度開成町民センター老朽化対策工事の工事請負変更契約について 工期:令和8年2月28日までに変更 変更内容:エレベーター更新工事の次年度への繰越など
		令和6年度開成町一般会計補正予算(第5号)	可決	開成町グリーンリサイクルセンター指定管理料、あしがら郷「瀬戸屋敷」指定管理料、開成水辺スポーツ公園指定管理料の債務負担行為の追加
		指定管理者の指定について(開成水辺スポーツ公園)	可決	開成水辺スポーツ公園の指定管理者として「開成スポーツパートナーズ」を指定
		指定管理者の指定について(開成町グリーンリサイクルセンター)	可決	開成町グリーンリサイクルセンターの指定管理者として「共和衛生工業グループ」を指定
		指定管理者の指定について(開成駅前第1自転車駐車場)	可決	開成駅前第1自転車駐車場の指定管理者として「横浜サイバークング株式会社」を指定
		指定管理者の指定について(あしがら郷「瀬戸屋敷」)	可決	あしがら郷「瀬戸屋敷」の指定管理者として「株式会社オリエンタルコンサルタンツ神奈川事務所」を指定

一般質問 60分真剣勝負!

一般質問とは?

定例会で、議員が行政の施策や方針などについて、報告、説明を求めたり質問することを言います。12月定例会議では初日の12月3日が一般質問にあてられ、6名の議員が60分(答弁込み)の持ち時間で登壇しました。各議員の質問全編はQRコードからご覧いただけます。

自治体運営



財政運営の考えを問う

ささきのぼる
佐々木 昇

問 今後の財政運営の総括的な考えを町長に問う。

答 今後、財政を取り巻く環境は、当分の間は非常に厳しいと認識している。そんな中で町民の皆様の幸せのため、町の弛まぬ発展のために健全な財政運営を図っていく。特に重視すべきは最小のコストで最大の効果を得られるように事業を推進していくということ、また、1つの事業において複数の課題克服、目的を持って、それを達成するように事業の質を上げていくということが我々が取り組むべき姿勢だというふうに改めて強く認識している。

子育て教育



・親子を交通事故から守り、効率的な歩行の動線を
・子どもの居場所づくりについて
問う

いまにし けいこ
今西 景子

問 開成南小学校区の学童出入口が直接車道に面しており、お迎えラッシュ時に大変危険。公園側に出るなど対策は。

答 現在考えられる選択肢を再検討する。

問 開成中央通りのみなみ三丁目側と自治会館側を渡る横断歩道を設置できないか。

答 神奈川県公安委員会が決定すること。粘り強く要望を継続する。

問 酷暑や雨でも過ごせる屋内の子どもの居場所を設ける考えは。

答 町民センターに新たに全世代向けの居場所を設置する方向。

子育て教育



教育長の学校教育における考えを問う

いのうえ しんじ
井上 慎司

問 本町の独自性を持った学校教育のビジョンはあるか、教育長の考えは。

答 学校教育の目的は、生きる力を育むこと。学校は社会でより良く生きるためのスキルを身につけるところである。生きる力を示すキーワードとして不易と流行を掲げ、学校教育を推進していく。重点項目はICTの積極的活用・教育支援センターの支援員や介助員の増員と機能の充実・英語教育の充実である。

文命中学校校では制服のあり方を検討し、学校プールは他用途への転換や撤去も含め、多角的な検討が必要であると考えている。

子育て教育



子どもも大人も、公共施設を活発に利用するための施策を

しみず ゆき
清水 友紀

問 新たな公共施設(図書館)を考える前に、既存施設の有効活用の促進に加え、課題の洗い出しや現状認識が必要ではという考えを共有するか。

答 共有している。公共施設の老朽化は自治体にとって、場合によっては最も重要な課題だと強く認識している。将来に渡りどのような機能がどのくらい必要か、それぞれの施設が何のためにどのくらい使われているのかとの検証がまずは必要。

問 鍵の貸し借りなどICT化で利用しやすい環境づくりについての考えは。

答 より利便性が向上するような仕組みにしていきたい。

自治体運営



本町の2つのブランディング事業、開成町ブランドおよび町そのもののブランディング事業について問う

やましたすみお
山下 純夫

問 開成町がブランディングにおいて最も大切にすべきテーマ、開成町の価値は何だと考えるか。

答 自然と調和した町ということ。

問 今年人口がマイナス95人になっていることをどう感じているか。

答 データとしてその通りだが、楽観的な認識を持っている。単年度で見ると厳しいが、引き続き駅前通り線という事業認可が県から受けられる環境にあるということは、県下でも極々一部の事例に過ぎないということを改めて前向きに認識していきたい。

子育て教育



学校現場の現場と教育現場の更なる整備を問う

よしだ しろろう
吉田 敏郎

問 開成小3階の教室と前の廊下の雨漏り、体育館の床の早期修繕は。

答 学校の方に優先順位を確認、情報が上がってくれば対応する。

問 トイレの早期改修と清掃委託継続の考えは。

答 喫緊の改修は考えていない。コロナ前の児童生徒による清掃に戻す。

問 開成南小プール授業の暑さ対策として、カーポート式の屋根の設置は。

答 良いアイデアだが億単位かかる。時期をずらし次の一手を考える。

問 普通教室の空調設備の更新計画と生活支援・学習支援員の増員は。

答 空調整備は大規模改修で考えていく。人員の確保は継続していきたい。

地道な活動 大きな影響 ~開成町消費者の会~

意見交換会第2弾、開成町消費者の会との意見交換会を開催

開成町消費者の会(会長 鳥海 由美子さん)は昭和52年(1977年)に発足、今年48年目を迎え、これまで行政の動きにも多大な影響を与えている団体です。一例を挙げると、牛乳パックの資源ごみ化があります。最初に提言されたのは平成2年のことで、当初は自主的に活動され、回収した牛乳パックの販売益でトイレトーパーを購入し、幼稚園で使ってもらうなどして牛乳パックの価値を実証されました。その結果平成5年からは資源ごみとして行政の回収ルートに乗りました。令和5年度は、回収量5,740kg、約5万円の売却益が出ています。発

足した昭和52年当時は全国で環境問題が注目され始めた頃で、町の環境問題を自分たちの力でどうにかしたいとの思いから会を立ち上げられたそうです。現在行われている廃食油の回収事業も、創設当時の思いにつながるものがあります。この廃食油の回収事業の拡大が現在の課題とのことでした。啓発のためにも役場駐車場で実施したいとの希望がありました。この点は議会としても対応を考えたいところです。また最後に選挙のある開成町に、無投票にならないようにと議会側への宿題もいただきました。

一般質問
動画は
こちら



井上 慎司



清水 友紀



佐々木 昇



山下 純夫



今西 景子



吉田 敏郎



ご縁を大切に、唯一無二のモノを一緒に作りあげる

代表 移川 道男 一級建築士

湯田島 菊屋 水の語り部(修善寺・新築)

うつしかわ 建築設計事務所

ご依頼・ご質問など / mail:info@utsushi.jp

絹華 創業明治38年のお豆腐店

おかげさまで120周年
ありがとうございます。
お客様の来店を
心よりお待ちしております。

有限会社 絹華(きぬはな)
足柄上郡山北町山北2745
☎75-0273 (定休日なし)
HP http://kinuhana.co.jp

読者アンケート

今回のギカイだよりに関してアンケートのご協力を
お願いいたします。
右のQRコードからどうぞ!



VEGETABLE OIL INK

R70

植物インクと再生紙を使用しています。

発行:開成町議会
編集:広報広聴常任委員会(広報分科会) メールアドレス: gikaijimu@town.kaisei.kanagawa.jp

【議会事務局】電話:0465(84)0323 FAX:0465(20)5272